

2025年3月期中間決算および 第8次中期経営計画の進捗状況

2024年11月

株式会社滋賀銀行（東証プライム：8366）

Copyrights © SHIGA BANK, Ltd. All Rights Reserved.

「三方よし」で地域を幸せにする
Sustainability Design Company

SHIGA BANK

■ 2025年3月期中間決算の概要

損益の状況	4
貸出金・預金の状況	5
非金利収益・経費の状況	6
有価証券の状況	7
2025年3月期 業績予想	8

■ 第8次中期経営計画の進捗

達成指標（KPI）	10
法人・個人戦略	11
消費者ローン	12
ファイナンス戦略	13
グループ戦略・新規事業	14
8次中計最終年度のイメージ	15
資本コストや株価を意識した経営 PBRロジックツリー	16
資本政策	17
キャピタルアロケーション	18
政策保有株式の状況	19

■ 資料編

総貸出金残高	21
総預金残高・預り資産販売額	22
金利のある世界	23
金利上昇の影響	24
本資料に関するご照会先	25

2025年3月期中間決算の概要

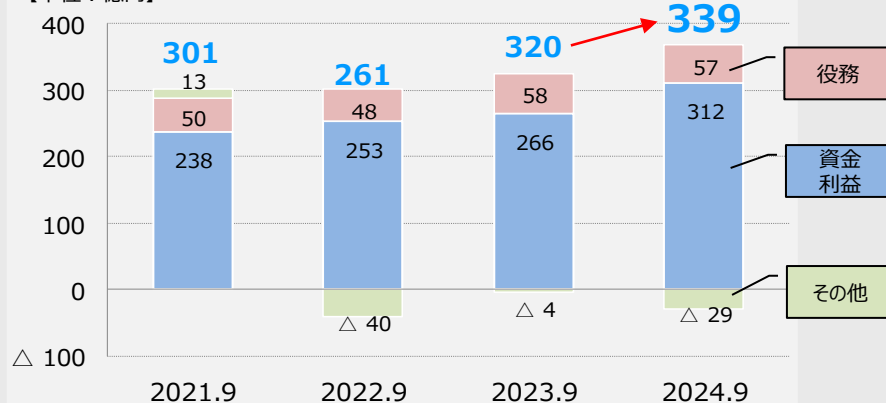
■ 決算の状況

【単位：億円】

	項番	2023.9	2024.9	前期比
業務粗利益	1	320	339	19
資金利益	2	266	312	45
うち貸出金利息	3	219	235	15
うち有価証券利息配当金	4	119	156	36
うち預金等利息 (▲)	5	9	18	9
役員取引等利益	6	58	57	▲1
その他業務利益	7	▲4	▲29	▲25
経費 (▲)	8	204	222	17
人件費 (▲)	9	93	94	0
物件費 (▲)	10	94	110	16
税金 (▲)	11	16	17	0
実質業務純益	12	115	116	1
一般貸倒引当金繰入額 (▲)	13	▲1	▲8	▲6
業務純益	14	117	125	8
臨時損益	15	58	▲8	▲67
うち株式等関係損益	16	60	15	▲44
経常利益	17	176	116	▲59
特別損益	18	▲0	▲1	▲0
税引前中間純利益	19	175	115	▲59
中間純利益	20	124	89	▲34
与信コスト (▲)	21	12	22	9
連結中間純利益	22	125	87	▲37

■ 業務粗利益推移

【単位：億円】



■ 与信コスト推移

【単位：億円】

	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9	2025.3 (予想)
与信コスト	75	20	20	31	22	31
うち引当基準見直し分	-	19	-	-	-	-

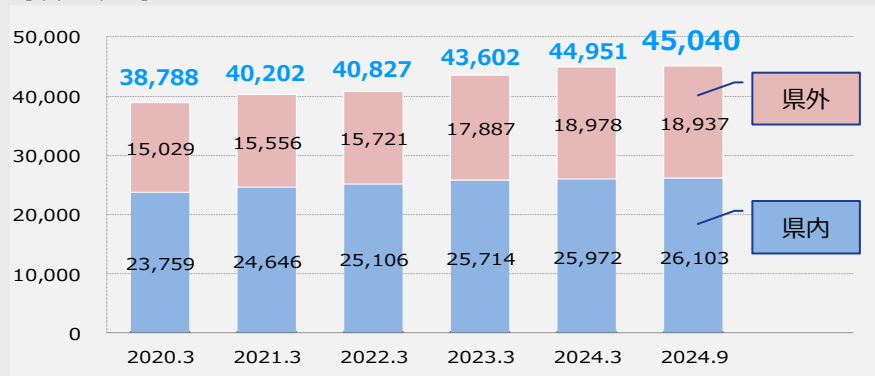
引当の
厳格化

コロナ引当

対象先
見直し

■ 総貸出金推移（末残）

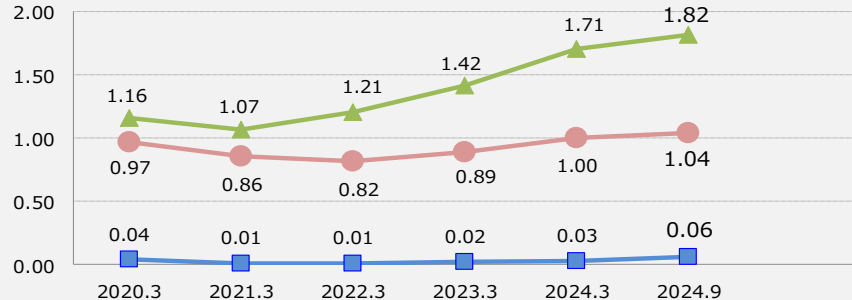
【単位：億円】



■ 貸出金等利回り

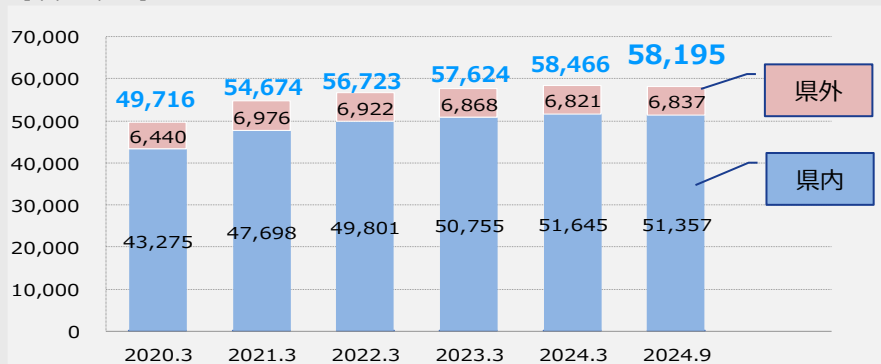
【単位：%】

● 貸出金利回り ● 有価証券利回り ■ 預金等利回り



■ 総預金（末残）

【単位：億円】



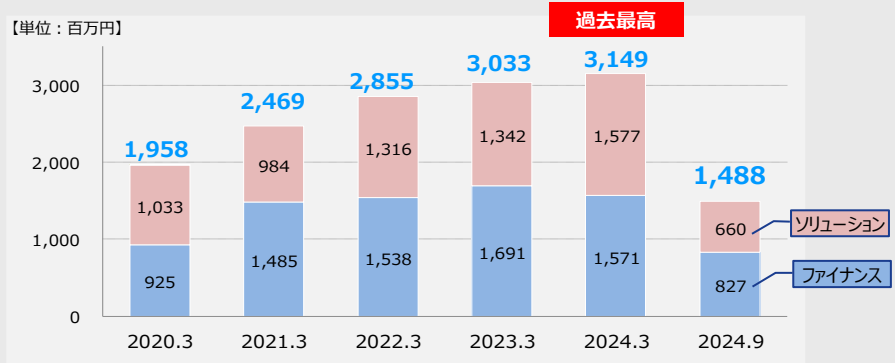
■ 滋賀県内 シェア

	2019.3末	2024.3末	増減
預金	45.28%	47.51%	2.23%
		地銀10位	
貸出金	49.34%	48.83%	△0.51%
		地銀5位	

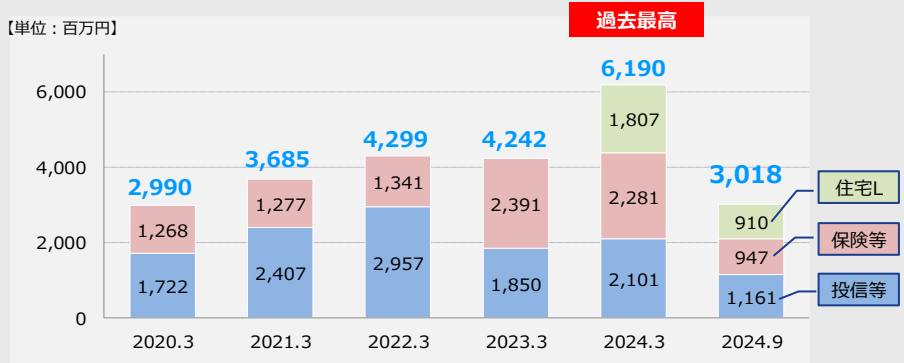
(商工中金他一部の金融機関を除く)

※順位は金融マップ2025年版より

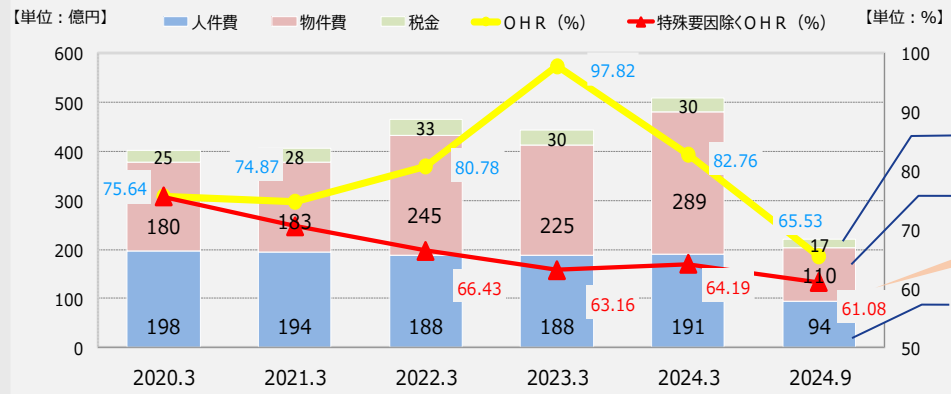
■ 主な法人事業性手数料



■ 主な個人コンサルティング手数料



■ 経費・OHR



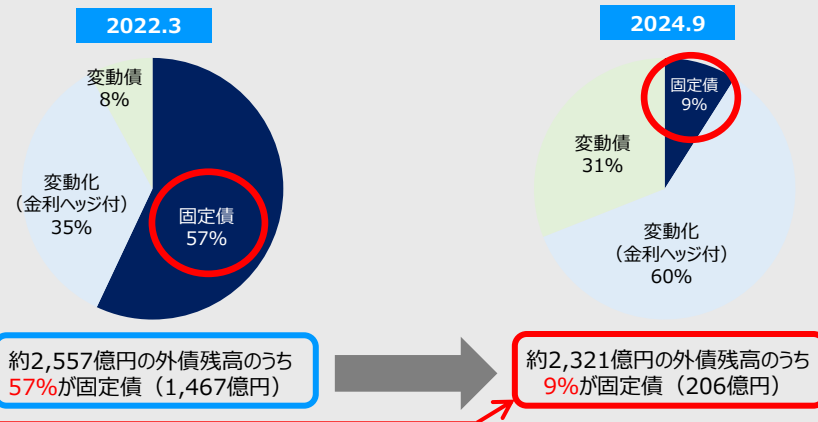
特殊要因除くOHR
(次世代基幹系システム関連費用等)

■ 運用残高

項目	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9	前期末比
国債	3,347	3,242	5,381	5,507	▲125
地方債	1,981	2,281	2,317	2,101	▲216
社債	3,078	3,100	3,008	2,999	▲9
株式	3,185	2,876	3,487	3,264	▲222
その他の証券（外債・投信等）	3,558	3,687	4,409	4,627	218
外国証券	3,021	2,558	2,984	2,999	15
うち円建外債	165	206	242	287	44
うちユーロ円債	238	267	291	291	0
うち外貨建有価証券	2,557	2,050	2,381	2,321	▲60
うちその他	60	34	68	99	31
投資信託等	537	1,129	1,424	1,627	202
合計	15,151	15,188	18,605	18,500	▲104

【単位：億円】

外債運用の内訳



■ 評価損益

項目	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9	前期末比
満期保有目的	▲21	▲51	▲82	▲97	▲14
その他有価証券	2,084	1,492	1,834	1,585	▲249
株式	2,209	1,827	2,392	2,145	▲246
債券	▲38	▲110	▲256	▲347	▲91
その他	▲86	▲224	▲301	▲212	88
うち外国証券	▲104	▲218	▲332	▲234	97
小計	2,063	1,440	1,751	1,487	▲263
繰延ヘッジ評価損益	86	224	434	343	▲90
合計	2,149	1,664	2,185	1,831	▲353

【単位：億円】

● 円債デレーションの推移

	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
円債デレーション	5.64年	5.19年	4.93年	4.53年

・さらなる金利上昇に備え金利リスク量を抑制

● 外債デレーションの推移

	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
外債デレーション	1.39年	1.91年	1.82年	1.61年

・変動債中心のポートフォリオを維持

□ 単体 主要勘定（通期の期中平均残高） 【金額単位：億円】

	予想 平均残高	前期比	増減率（%）
預金等 （譲渡性預金含む）	58,571	963	1.6%
貸出金	45,151	1,133	2.5%
有価証券	17,307	2,111	13.8%

□ 単体 利回り 【単位：%】

	予想 利回り	前期比
預金等 （譲渡性預金含む）	0.09	0.06
貸出金	1.10	0.10
有価証券	1.63	▲0.08

□ 単体業績予想 【単位：億円】

	2024.3 実績	2025.3 予想	前期比
経常利益	231	220	▲11
当期純利益	157	158	0

□ 連結業績予想 【単位：億円】

	2024.3 実績	2025.3 予想	前期比
経常利益	239	230	▲9
当期純利益（※）	159	160	0

※親会社株主に帰属する当期純利益

第8次中期経営計画の進捗



第8次中期経営計画における「サステナビリティ達成指標」と「財務指標」の2024年9月期の実績は次のとおりです。

達成指標		達成指標	2024年9月期実績	
サステナビリティ 達成指標	インパクト デザイン	地域の成長を支える投融資額	1兆2,000億円 (期間累計)	1,058億円
		お客さまの夢や事業をサポートする件数	30,000件 (期間累計)	3,504件
		地域や社会の持続可能性を高めるサステナブルファイナンス実行額	7,000億円 (期間累計)	626億円
	ベース for グロース	稼ぐ力の向上に向けた新たなファイナンス手法による投融資残高	7,500億円	3,797億円
		お客さま価値の創造と当行グループの業務変革につなげるDXへの取り組み	定性評価	
		カーボンニュートラル社会の実現に向けたGHG排出量削減（Scope1、2）	ネットゼロの達成	（年間評価）
		人的資本最大化のための従業員エンゲージメント向上（肯定的割合）	持続的向上	（年間評価）
		価値創造の主役として、地域の未来へ挑戦できる人材を育成するための投資額	2023年度対比倍増 (一人当たり30万円/年)	（年間評価）
		スキルアップやキャリア形成に向けて自律的に挑戦した人数	2,000名 (期間累計)	<2024年9月期> 325名



■ 目指す姿

成長戦略

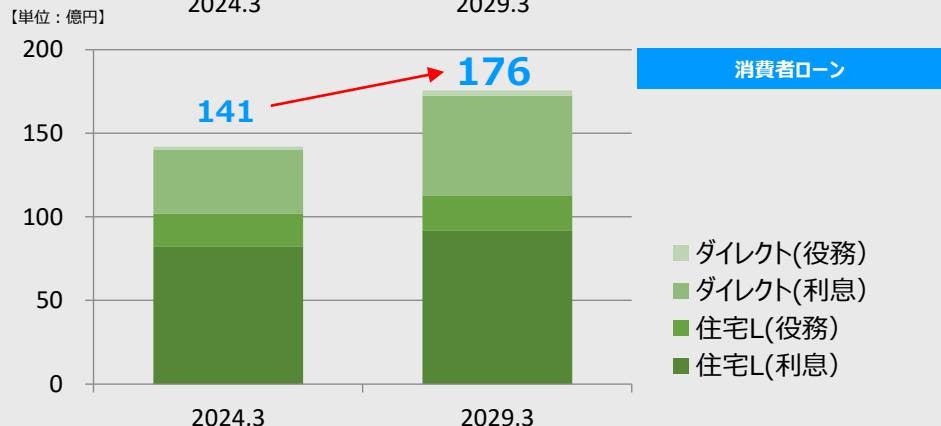
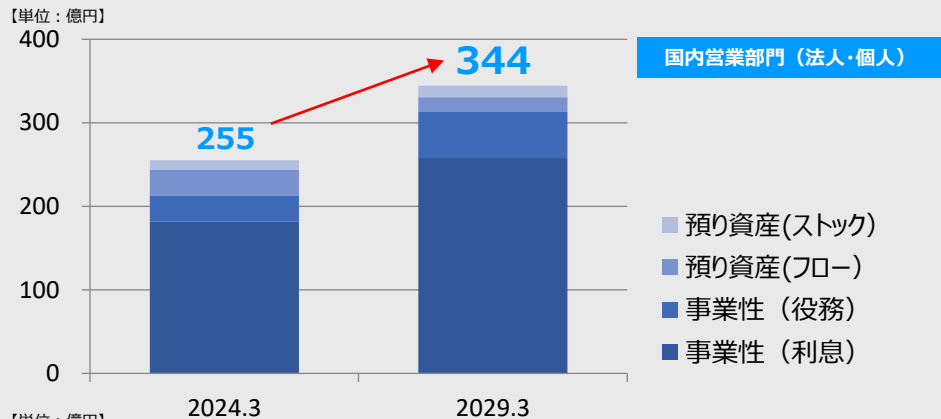
■ 地域のお客さまとの「よりよい接点」から価値創造
 ・お取引先のニーズを起点とし、顧客熟知・関係構築をしながら間口を拡大。
 コンサルティング・ソリューションの提供を融資取引につなげ、資金利益の増強を図る。
 法人役務は**55億円 (+24億円)**を目指す。

■ 非対面チャネルの有効活用
 ・住宅ローンのWeb申し込み比率の増加等、非対面チャネルを活用した効率的業務を推進。
 ・ダイレクトローンは、全国展開・非対面の強みを活かし、収益性の高い貸出金の増強を図る。

課題 リスク要因

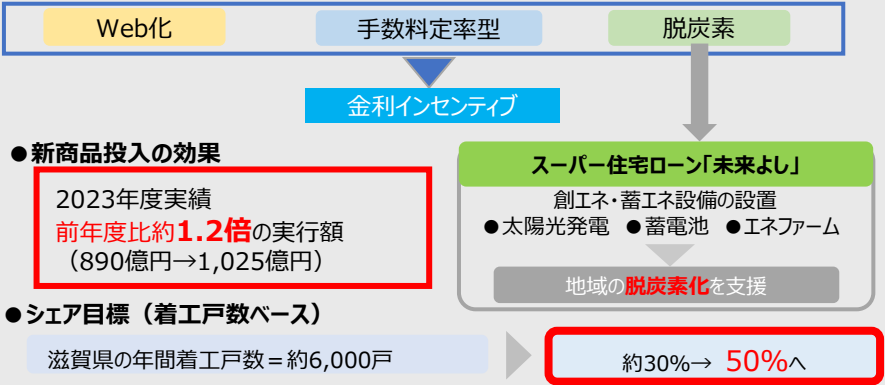
- ・人材増強と育成
- ・大口先、県外高格付先のデフォルト発生（歴史的な低デフォルト率の反動懸念）
- ・コロナ資金対応先のデフォルト増加
- ・全体的な人口減少とネット銀行の台頭による競争激化
- ・経済情勢等外部環境に伴う不動産市況の動向

■ 収益計画





■住宅ローン

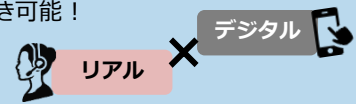


■ダイレクト型消費者ローン

■ダイレクトチャネルの充実



コールセンターの専門スタッフが電話やチャットで手続を**手厚くサポート**
ローン申込から契約・実行まで **来店不要** で手続き可能！
(※2023年度非対面完結率：約99%)

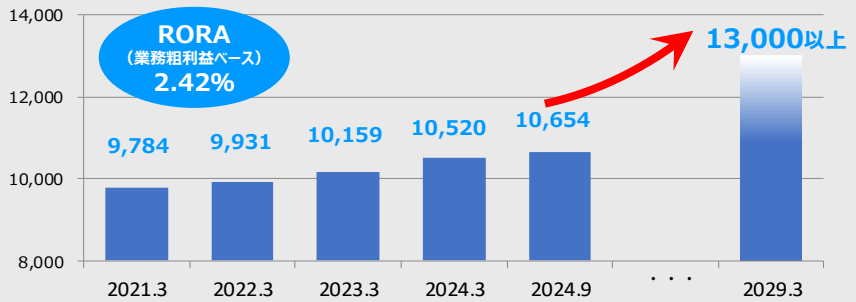


■お客さまニーズへの対応

お客さまニーズ に合わせ、**商品改定** や **利便性の向上** を実施。
また、**Web広告を強化** し、お客さまへの訴求力を強化。

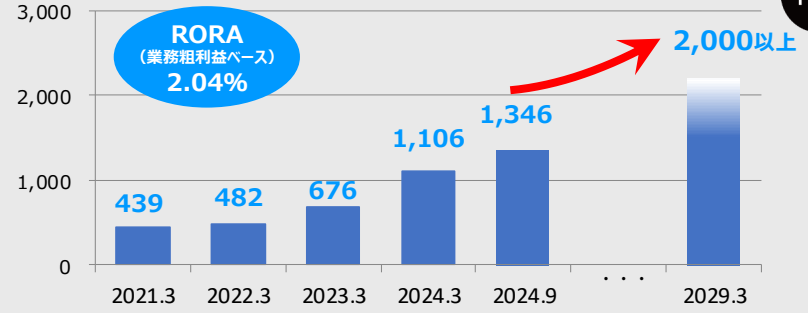
住宅ローン残高

【単位：億円】



その他消費者ローン残高

【単位：億円】



■ 目指す姿

成長戦略

+X

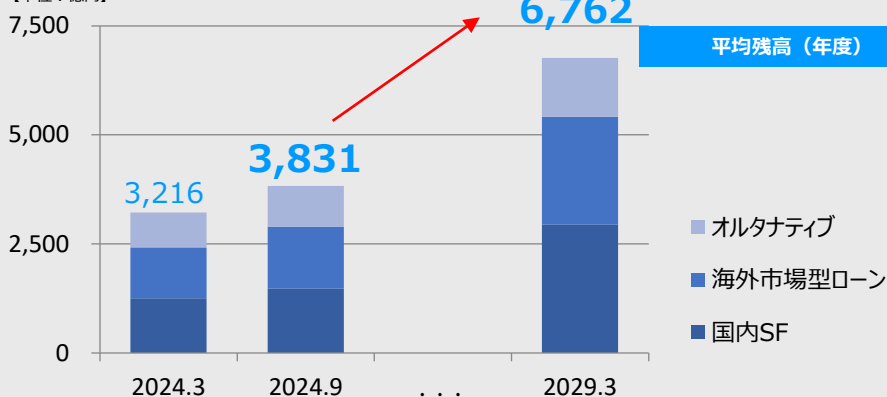
- RORA・リスク分散を意識した投融資
- ・2021年6月に「ファイナンス室」を設置
成長分野に人員・経営資源を投入
経済資本→高RORAアセットの積み上げ
人的資本→新たなファイナンス手法への挑戦
- ・幅広い分野・手法に投資。
国内SF：インフラ、不動産、データセンター等
海外市場型ローン：海外コーポレート、海外ストファイ等
オルタナティブ：ベンチャー・バイアウトファンド、不動産等
→中計最終年度収益 **75億円** に挑戦

課題
リスク要因

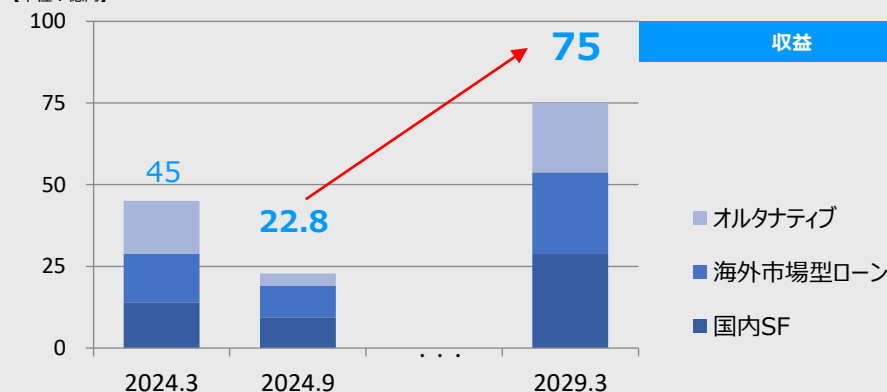
- ・ノウハウの組織的な定着、人材育成
- ・クレジットリスク、ストラクチャーリスク等のリスク管理
- ・サウンデス等の発生→与信コストの顕在化
→分散の徹底によるリスク軽減
(戦略分散、地域分散、時間分散)
- ・外貨資金の調達環境

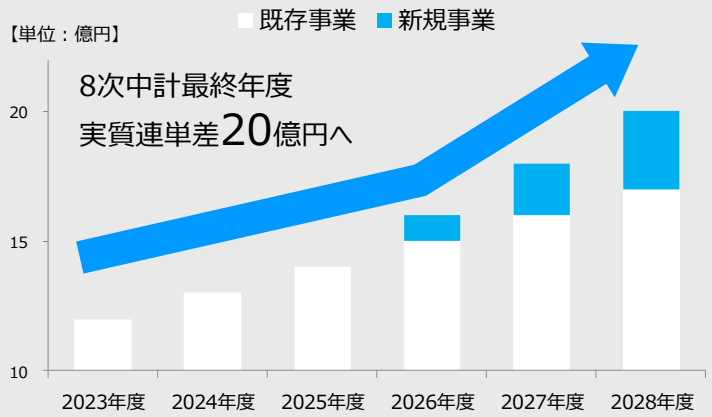
■ 残高・収益計画

【単位：億円】



【単位：億円】





■ 既存事業

- 滋賀ディーシーカード
しがぎんジェーシービー } …キャッシュレス事業
- しがぎんリース …リース事業
- しがぎん経済文化センター…コンサルティング事業
- しがぎんビジネスサービス …事務代行 (センター)
- しがぎん代理店 …代理店運営
- 滋賀保証サービス …信用保証、貸出担保評価・管理

しがぎんキャピタルパートナーズ

● 投資事業 **+X**

- ・2024年10月設立
- ・マーケット縮小や後継者、人材不足など地域の課題に対し、お取引先の株式保有とハンズオン支援により解決を図る

<投資事業>

- ・年度内にファンド立ち上げ予定
- ・滋賀県内で後継者不在企業30,000先をターゲットとして、事業承継を課題とするお取引先への投資からスタート
- 将来的に事業再生やベンチャービジネス、地域活性化領域への展開も検討

しがぎんエナジー

● FIT発電事業、PPA事業 ● GXコンサルティング事業 **+X**

- ・2024年4月設立
- ・GXを通じた再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消による資源循環を促進し、地域のポジティブインパクトを創出

<FIT発電事業>

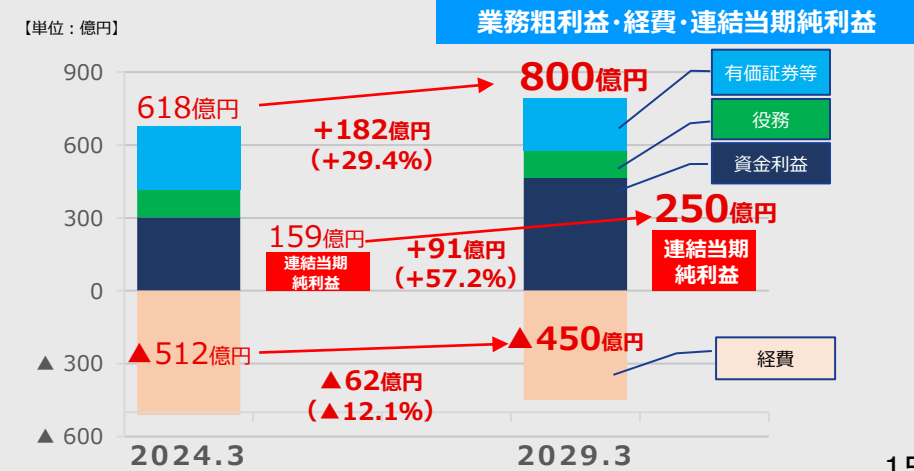
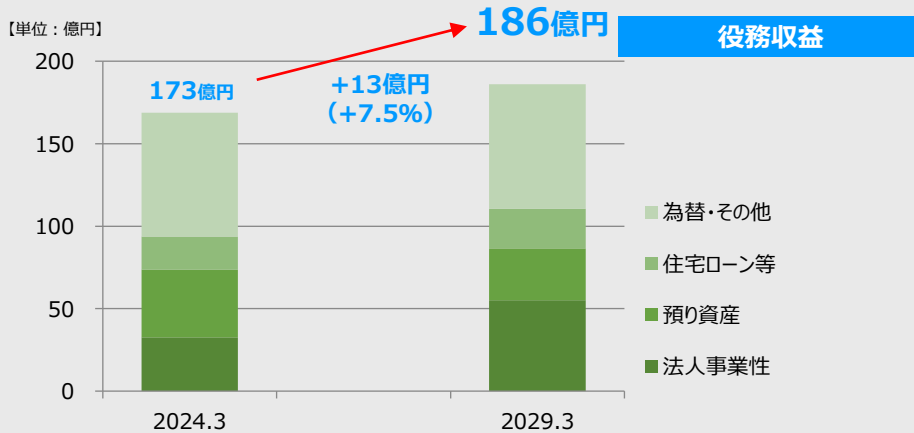
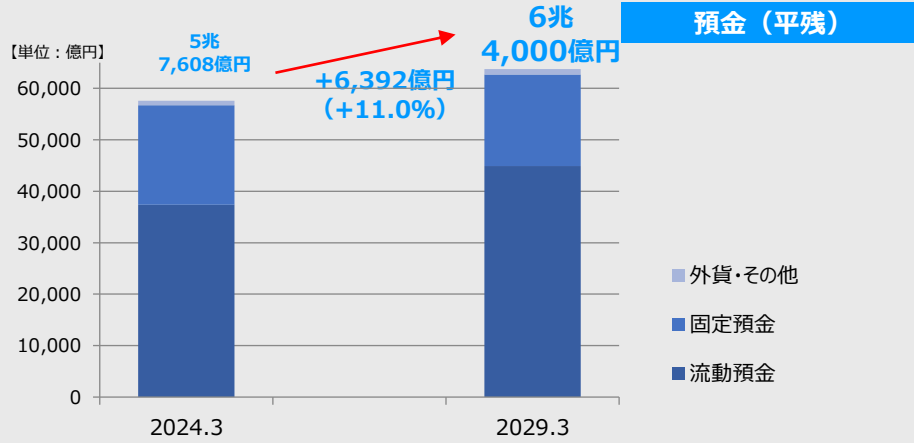
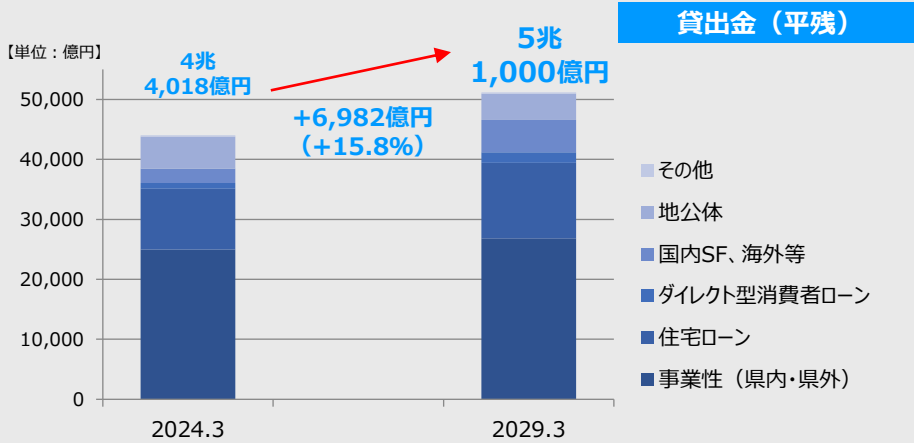
- ・滋賀県内中心に太陽光発電所16カ所、発電規模20Mw (2024.9末時点) 取得、投資総額約60億円と順調に拡大
- ・初年度である2025年3月期は償却負担先行で赤字見込
- 年度内に投資総額100億円を計画・来期の黒字化に目途 PPA、蓄電池事業など新たな領域への投資も検討

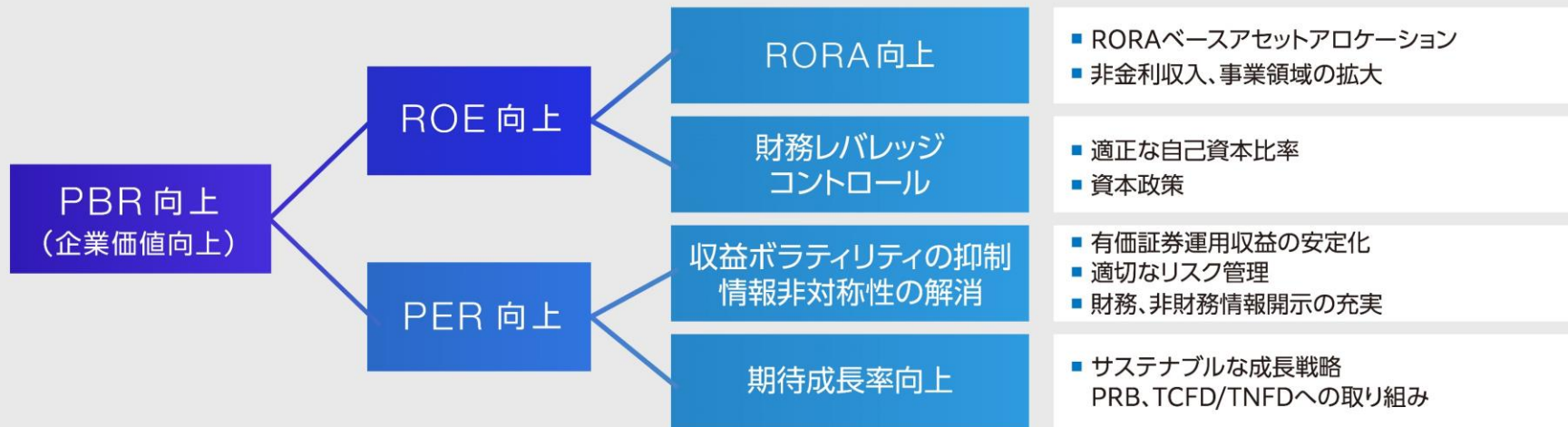
家賃債務保証事業 **+X**

- ・2024年4月より全保連株式会社との業務提携開始
- ・地域の不動産業者との連携により、賃貸オーナー、入居者が安心できる賃貸環境づくりに向けて、浸透を図っていく

新規事業専担～未来デザイングループ～ **+X**

- ・創立90周年記念ビジネスコンテスト (2023年10月) に応募されたビジネスアイデアの検討や100社以上の企業、自治体への訪問を通じ、地域の課題解決につながる新たな事業を模索





■ PBR・ROE・株主資本コストの関係

$$PBR = ROE \times PER$$

$$= ROE \times \frac{1}{\text{株主資本コスト} - \text{利益成長率}}$$

(広義の株主資本コスト)

■ 株主資本コストの推計

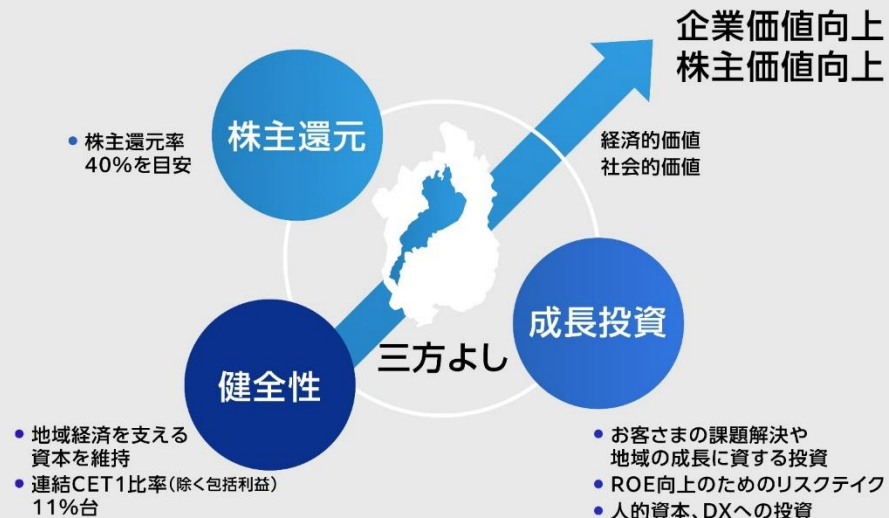
- CAPMベース (TOPIX期待収益率×β+リスクフリーレート) → 5%程度と推計
- 株式益利回りによる推計 → 期待リターンを8~9%程度と推計

■ エクイティスプレッドの認識

- 現状のROEは3%台であり、株主資本コストを2~6%下回っていると認識
→ エクイティスプレッドをプラスにすることでPBR向上を図る
①ROE向上と②PER向上に取り組む

資本政策については、近江商人から受け継いだ「三方よし」の精神のもと、「健全性の確保」、「株主還元」、「成長投資」をバランスよく運営し、企業価値向上ならびに株主価値向上に努めていきます。

健全性の確保、株主還元、成長投資をバランスよく運営



2024年3月22日に、8次中計期間中の株主還元方針を公表

配当と自己株式取得合計の株主還元率**40%を目安**に取り組む。

【2023年度配当】
普通配当80円
+記念配当10円

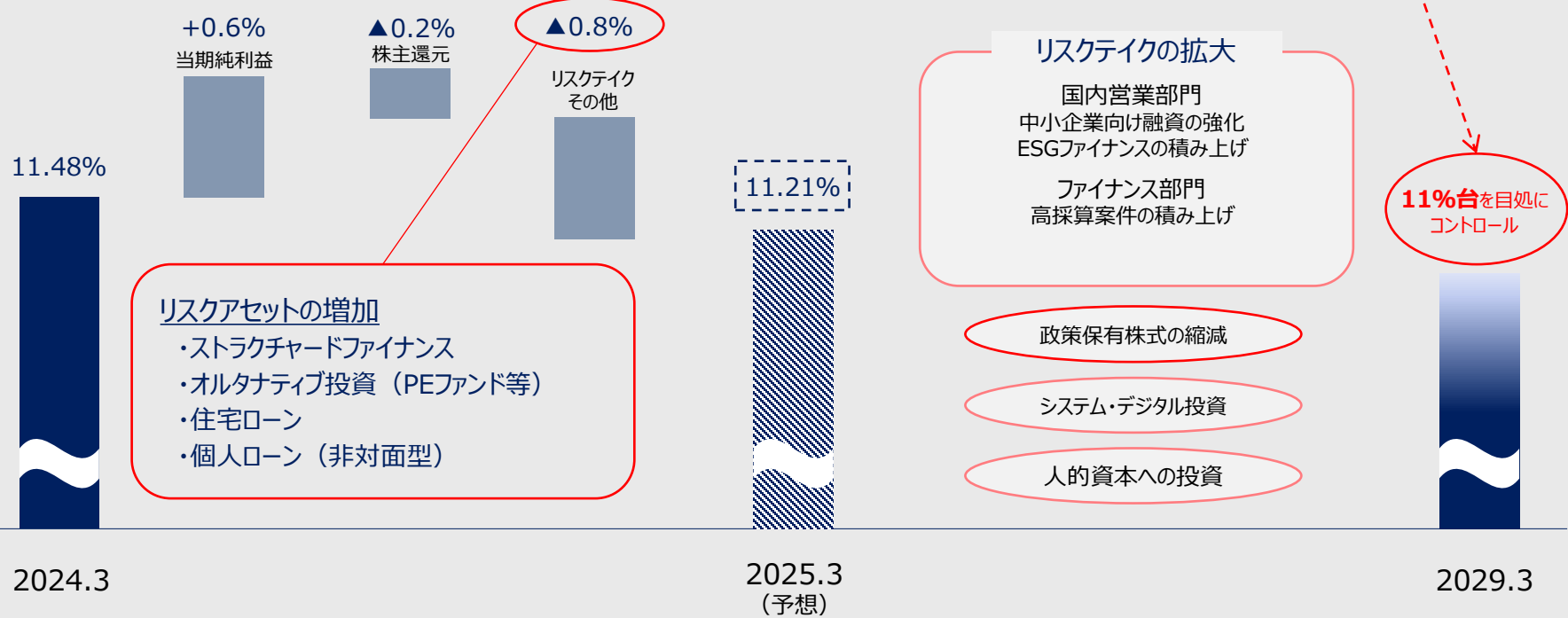
【2024年度配当予想】
普通配当90円 (+10円)

項目	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3 (予想)
連結当期純利益(億円)	146	124	114	177	148	159	160
配当総額(億円)	21.9	20.2	19.9	38.9	38.1	42.5	42.2
1株あたり年間配当金(円)	42.5	40	40	80	80	90	90
(うち 普通配当)	35	35	35	35	80	80	90
(うち 特別配当)	5	5	5	45	-	-	-
(うち 記念配当)	2.5	-	-	-	-	10	-
連結配当性向(%)	15.1	16.5	17.5	22.3	25.8	26.8	26.4
自己株式取得(億円)	24.6	22.8	10.0	24.9	29.9	19.9	(目安) 40%
株主還元率(%)	31.7	34.7	26.2	36.1	45.8	39.2	40%

地域経済を担う金融機関として
 ①リーマンショック級のクレジットイベント発生時に
 ②包括利益が枯渇しても
 ③地域へのリスクマネーを供給し続けることが求められる

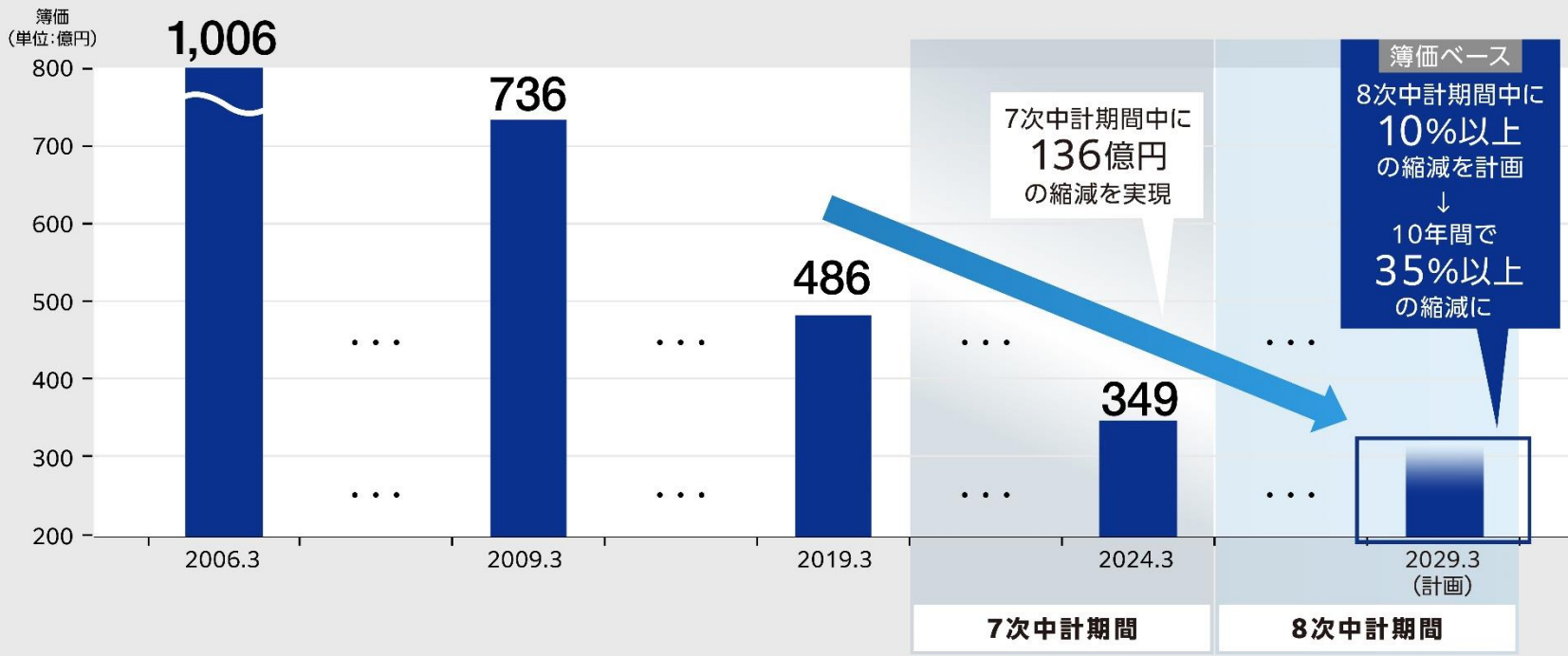
➔

連結CET1比率（除く包括利益）ベースで
財務レバレッジを適切にコントロール



政策保有株式の縮減に関する方針

保有継続の可否について、経済合理性および地域経済との関連性ならびに当行の資本政策上の観点から総合的に判断し、縮減に努めてまいります。
なお、売却にあたっては、取引先企業との十分な対話を通じて進めてまいります。



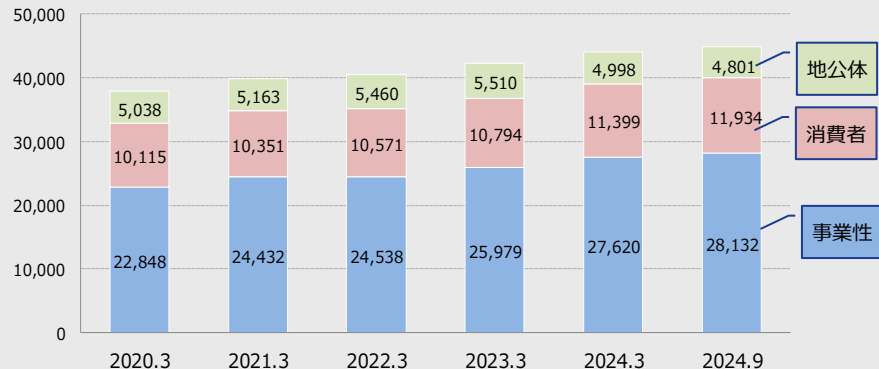
資料編

■ 総貸出金残高（期中平残・セグメント別）

【単位：億円】

項目	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
事業性貸出	22,848	24,432	24,538	25,979	27,620	28,132
消費者向け貸出	10,115	10,351	10,571	10,794	11,399	11,934
地公体その他	5,038	5,163	5,460	5,510	4,998	4,801
合計	38,002	39,947	40,570	42,283	44,018	44,868

【単位：億円】

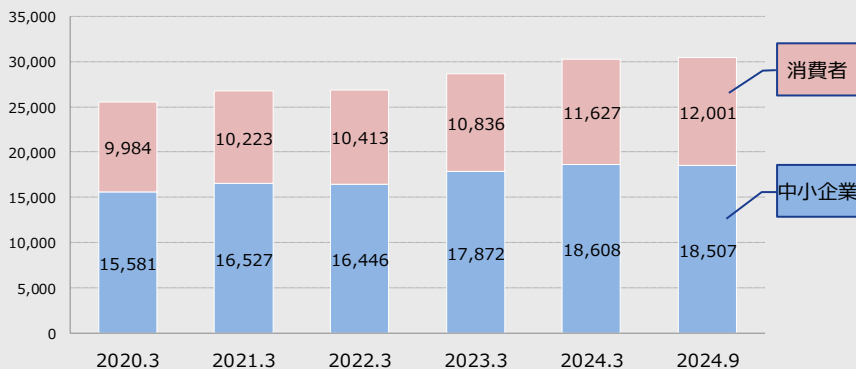


■ 中小企業等貸出金（期末残高）

【単位：億円】

項目	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
中小企業向け貸出金	15,581	16,527	16,446	17,872	18,608	18,507
消費者ローン等	9,984	10,223	10,413	10,836	11,627	12,001
うち住宅ローン	9,545	9,784	9,931	10,159	10,520	10,654
うちその他消費者ローン	438	439	482	676	1,106	1,346
合計	25,565	26,751	26,859	28,709	30,235	30,508

【単位：億円】

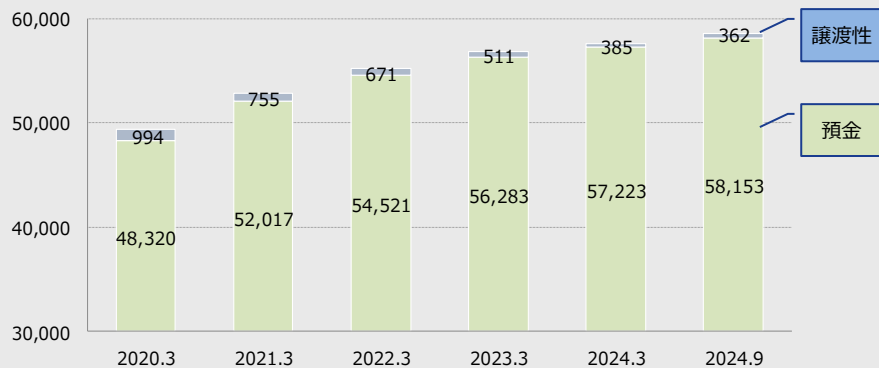


■ 総預金 期中平残（セグメント別）

【単位：億円】

項目	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
預金	48,320	52,017	54,521	56,283	57,223	58,153
うち個人預金	35,797	37,824	39,539	40,823	41,612	42,098
うち法人預金	10,578	12,053	12,686	12,964	13,106	13,402
うちその他預金	1,944	2,140	2,294	2,495	2,504	2,651
譲渡性預金	994	755	671	511	385	362
預金等合計	49,315	52,772	55,192	56,795	57,608	58,516

【単位：億円】

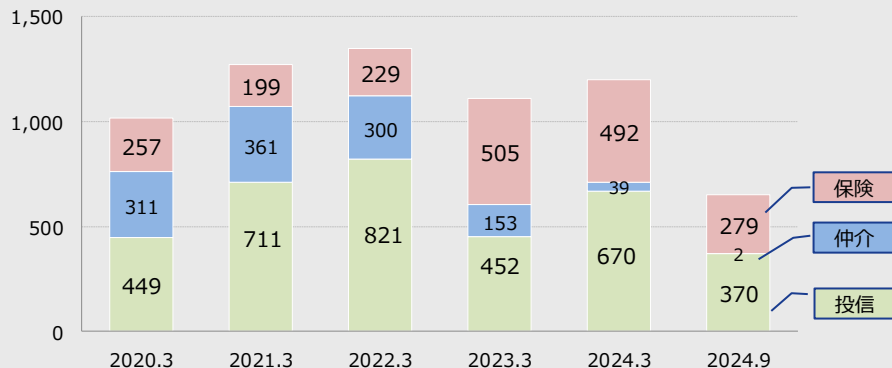


■ 預り資産販売額

【単位：百万円】

項目	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2024.9
投資信託	449	711	821	452	670	370
金融商品仲介	311	361	300	153	39	2
年金保険・生命保険・損害保険	257	199	229	505	492	279
合計	1,017	1,271	1,352	1,111	1,201	653

【単位：百万円】



➤ 金利見直し・シナリオ

一部見直し

円金利シナリオ		市場金利（2023年度→2028年度）			当行金利	
		政策金利	TIBOR3M	10年JGB	預金	短プラ
メイン	緩やかな金利上昇	0.10 →0.50	0.08 →0.68	0.80 →1.30	流動0.20 固定0.25	2.575 (+0.40)

金利追随率の試算

貸出金 : 対3カ月Tibor 0.6程度
 預金 : 対政策金利 0.3程度

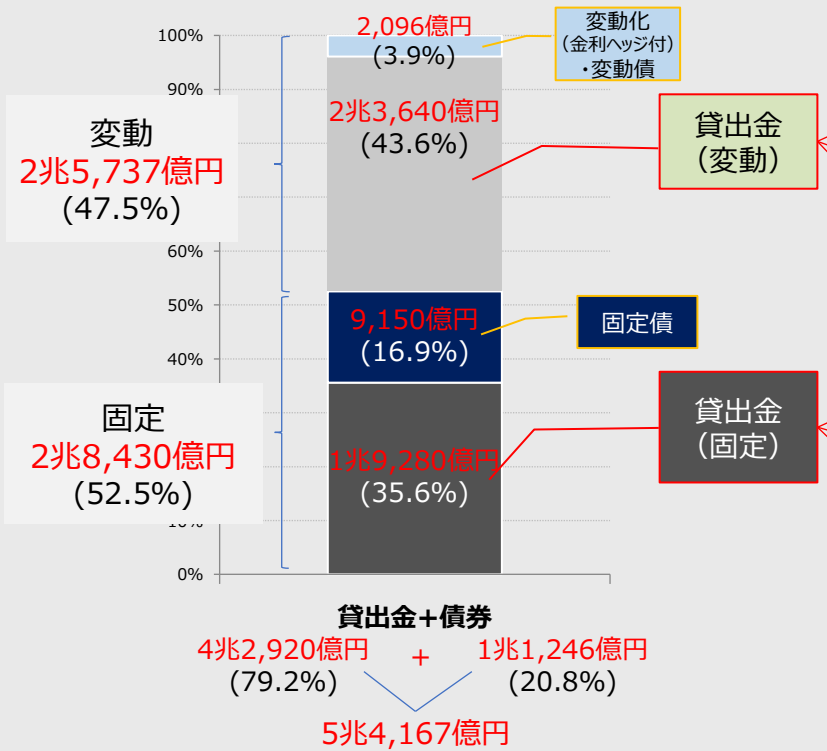
短プラ上昇によるトップラインへの影響
 10bp上昇で約13億円の増収要因



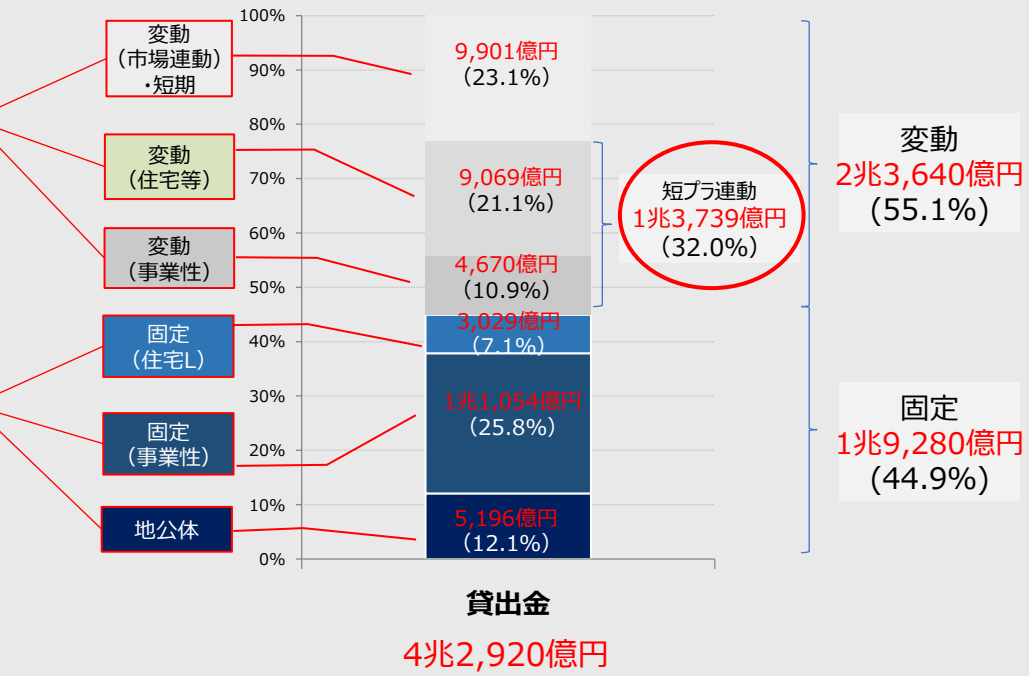
		トップライン		連結当期純利益	
		2023年度	2028年度	2023年度	2028年度
メイン	緩やかな金利上昇	618億円	800億円	159億円	250億円

※金利上昇による上振れ余地あり

■ 円貨全体 (2024年9月末時点)



■ 円貨貸出金 (2024年9月末時点)



本資料に関するご照会先

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

〈本資料に関するご照会先〉

滋賀銀行 総合企画部経営企画グループ
電話 077-521-2200
FAX 077-521-2890
ホームページ <https://www.shigagin.com/>

「三方よし」で地域を幸せにする

Sustainability Design Company

SHIGA BANK 